

第2回環境大学・環境学習円卓会議 議事録

日時：平成23年10月18日（木）午後7時～10時

場所：秋葉会館4階

<出席者>

- | | | | |
|---------------|---------|---------------|-------|
| 1. 環不知火プランニング | 吉永 利夫 | 5. 市民公募 | 清水 晶夫 |
| 2. 相思社 | 遠藤 邦夫 | 6. 市民公募 | 井上 章久 |
| 3. 水俣自然学校 | 三村 堅一 | 7. 環境モデル都市推進課 | 坂本 愛 |
| 4. みなまた環境塾 | 濱 田 裕 史 | 8. 企画課 | 一期崎 充 |

<有職者>

熊本大学 田中 昭雄／崇城大学 永松 俊雄

<オブザーバー>

国水研 佐藤 克子／環境省 大倉 紀彰・富田 茉莉

<事務局>

川野企画課長・坂本主幹・竹下／三菱総研 福田

【会議資料】

- ①レジュメ
- ②環境大学の設立イメージ（たたき台）環境大学・環境学習円卓会議
- ③参考資料1：大学等設立にかかる各種参考事例
- ④参考資料2：大学における教育課程の共同実施制度
- ⑤参考資料3：大学設置基準及び大学院設置基準の概要
- ⑥参考資料4：想定する設置・運営費用の試算

会議要旨

- ・各委員から、環境大学設立への意見
なぜ、水俣に大学を造るのか。運営方法は大丈夫なのか。
- ・今回の円卓会議では、第一目標として連携大学院で進めていきたい。
- ・環境大学の設立は、今後不可能。今回が最後のチャンスである。
- ・水俣の為に熱心になってくれる研究者を探す。
- ・これまで水俣を訪問された方たちを見捨ててきたことを反省しなければならない。
- ・水俣で何ができるのか。
- ・今後円卓会議（環境大学・環境学習）としては、連携大学院を目標として取り組んでいく。

	・ 昨年のまちづくり研究会のメンバーを通じた人脈を駆使して大学にあたっていく。
--	---